

CDP2014 優秀企業

コマツ株式会社

コマツ株式会社 常務執行役員
経営管理部長 杉木 亮氏

この度は優秀企業としての評価を頂きまして謹んで御礼を申し上げます。本日は代表取締役社長大橋徹二が所用の為出席できませんでしたが、メッセージを代読させて頂きました。

《代表取締役社長 大橋徹二氏のメッセージ》

今回優秀企業として評価を頂き喜んで深く御礼申し上げます。

当社は2010年に改定した地球環境基本方針に基づいて、製品のライフサイクル全体、そして製品の製造段階における環境負荷低減、CO₂排出量の削減に取り組んでおります。

当社の活動内容

第一の取り組みは製品のライフサイクル全体でのCO₂排出量の削減です。

これは2011年に業界に先駆けて導入致しました弊社独自のGPSを使った機械稼働管理システムから建設機械の燃費データがリアルタイムに取得出来ます。

これがCO₂排出量の見える化のキーとなっております、こうしたデータ

に基づいて2011年より開始されました最新の日米欧の排ガス規制に対応したエンジン、製品の開発では10%を超える低燃費の実現、CO₂排出量の削減を目指して参りました。又、従来期に比較して平均25%の燃費低減を達成したハイブリッドの油圧ショベルを業界に先駆けて2008年より販売しております。

特に環境対応を焦点としたお客様を中心に積極的に普及に取り組んでおります。

加えて、昨年にはCPSデータを使い全てのグレード制御を自動化した、世界初のブルドーザーを発売開始しました。

工期の大幅な短縮、燃料消費量の大幅削減に寄与しており、お客様より非常に好評を頂いております。今後更に普及が進むものと考えております。

こうした環境に優しい低燃費の商品、ICTを駆使した新商品を市場導入する事で、お客様の生産性、安全性の改善、更には製品使用時のCO₂排出量削減も達成する取り組みを加速させて参りたいと思っております。

第二の取り組みは製品の製造段階

における活動です。

2011年の東日本大震災に端を発した電力不足問題に対応致して、国内の生産工場では消費電力量を半減する活動に取り組んで参りました。既に様々な工夫や活動によって、電力量削減では大いに効果を出しておりますが、更なる効果を狙って弊社の発生の地であります石川県粟津工場では、今年5月に複数の旧建屋を新建屋に集約して抜本的な工程の改革、あるいは地下水を活用した冷暖房設備等最新鋭の省エネ高効率設備の導入により、電力使用量の大幅な削減と生産効率の大幅な向上を達成して参ります。

このような活動を通じて今回頂いた評価ですが、一企業人というよりも、地球人として大変光栄なことだと思っております。

これからも環境について後世に悔いを残さぬよう、個人はもとより企業は積極的に活動を推進していかなければならないと言うことを肝に銘じております。

最後にCDP様の今後益々のご発展を祈念致しますと共に、今回の評価に対しまして改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。